

河川への油流出防げ！

長良川で事故対応の訓練実施

木曽川水系の自治体や国の機関で構成する「木曽川水系水質保全連絡協議会」は、10月18日（金）、長良川左岸12.0K付近の船頭平河川公園内（愛知県愛西市立田町福原地先）において、油の流出事故を想定した水質事故対策訓練を開催し、当訓練に揖斐川第二出張所も参加してきました。当日、参加した92名の担当者は、実際にオイルフェンスを張る訓練やロープ結びの訓練を体験し、講師の方から水質事故発生初期における措置方法などについて、模型を使い、解りやすく説明を受けました。



オイルフェンスの展張り訓練

川幅の狭い河川では、オイルフェンスを速やかに張るための手段として、釣り竿やペットボトルの先にロープを取り付けて、簡単に対岸に投げ渡す方法などについて教えて頂きました。



講師による模型を使った説明状況



ロープを使った「もやい結び」の結び方を訓練する参加者

【出張所コメント】

- 昨年度、揖斐川第二出張所管内では、水門川（大垣市）、中須川（安八町）など、5件程度の油流出事故が発生しましたが、幸い、今年はこれまでに水質事故は発生しておりません。私たちは、毎日の飲み水・洗濯・入浴など生活に使う水道水を川から取っています。水質事故が発生した水からは取水ができず、稲を作る田畑に水を引くことも出来ませんし、川の中に生息する魚貝類にも悪影響を及ぼす可能性がありますので、事故が発生した場合は、速やかな回収等の対応が必要となります。